



開館
50
周年
記念
周記

広島県立美術館 名品セレクション

昭和 43 年に開館した当館は、50 周年の記念の年を迎えました。これを記念し、当館を代表する作品約 100 点を一堂にご覧いただける「秋の所蔵作品展 開館 50 周年記念 広島県立美術館名品セレクション」(~12 月 24 日まで)を開催しています。当館学芸員による連続講座も開催いたしますので、ご自由にご参加ください。お待ちしております。

— 学芸員による連続講座 —

開催日時	講師 (当館学芸員)	タイトルと概要
10 月 6 日 (土) 13 : 30~15 : 00	神内 有理	■広島県立美術館の 50 年 広島県立美術館の 50 年の歴史を写真や資料から振り返る。
10 月 14 日 (日) 13 : 30~15 : 00	福田 浩子	■個性ある美術館コレクション—日本とアジアの工芸 全国的にもユニークな存在である当館の工芸コレクションの特徴と見どころを豊富なスライドで紹介する。
10 月 27 日 (土) 13 : 30~15 : 00	山下 寿水	■激動する美術—両大戦間期のドイツ、フランスを中心に 第一次世界大戦という未曾有の戦争を経て、ヨーロッパで生まれた様々な芸術の動きについて、当館が所蔵する西洋美術作品を軸に紹介する。
11 月 3 日 (土・祝) 13 : 30~15 : 00	藤崎 綾	■近代日本洋画の魅力—当館のコレクションから 当館の近代油彩画作品を中心に、その造形的魅力や時代背景を紹介する。
11 月 25 日 (日) 13 : 30~15 : 00	角田 新	■自分を信じて—名井万亀の道— 現代でさえ、いわゆる美術の中で異彩を放つ名井万亀の作風。同時代ではなおさら突き抜けた存在だった。その作風はいったいどのようにして生まれたのか。その人間像を画像を使いながらご紹介する。
12 月 2 日 (日) 13 : 30~15 : 00	隅川 明宏	■広島絵画と京・江戸 近世から近代に至る広島ゆかりの絵画について、京や江戸(東京)との関わりに注目して紹介する。

会場：地階講堂 ※申込不要、聴講無料、定員 200 名 (先着順)、開場 13 時